





第2次総合計画施策評価シート《令和4年度分》

施策コード	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち
3 — 4	施策目標	4	文化・芸術の振興
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する		
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化		
	   		

目指すべきまちの姿 市の歴史文化を発信する拠点として、歴史民俗資料館が有効に利用され、歴史文化に対する関心と地域への理解が深まっています。

●主要施策と概要【PLAN】	この1年間の成果及び反省点【DO】	担当課	評価【CHECK】
(1) 文化芸術団体、指導者の育成 ・市民主体の文化芸術活動の一層の活性化を促進するため指導者の育成・確保を図ります。	今後も発表の場の提供や、生涯学習講座等への講師派遣を依頼するなど活動を支援し、市文化協会や市文化財保存会と協働して指導者の育成・確保に努めます。	生涯学習課	C
(2) 文化財の保存活用 ・無形文化財保存団体への助成及び文化財保存会との協働により市の無形文化財（伝統芸能）の保存と伝承活動を推進します。 ・市の有形文化財の保存・普及事業を推進します。	無形文化財伝承活動については、コロナ禍のため市の助成を受けて実施した地区が13地区にとどまりました。また、文化財保存会主催の文化芸能大会も中止となり発表の機会が失われました。市の有形文化財の保存については、森津の藤をはじめ文化財の適正な管理に努めました。一方、普及活動については、依然コロナ禍によりイベントが中止になり、ガイドの依頼も少ない状況となりましたが、リニューアルした歴史民俗資料館において展示を通して文化財の普及を図りました。	歴史民俗資料館	D
(3) 歴史民俗資料館の有効活用 ・新庁舎建設後の図書館棟への移転を契機に常設展示を見直すとともに、リピーター確保に向けた新たな企画展等を充実します。 ・SNSを活用した、市の歴史文化にかかる、さらなる情報発信を行います。 ・市内小学校との連携により、地域の歴史文化の理解・共有を図ります。	歴史民俗資料館は計画通り令和4年4月1日に図書館棟1階に移転し、常設展示を一新しました。企画展を年3回開催するとともに、毎月更新される金魚カードの配布やSNSを活用した情報発信を通してリピーターの確保に努めた結果、年間3万3千人を超える利用がありました。市内小学校には企画展等のチラシ配布や見学の受入れを行いました。4小学校からの見学にとどまりましたので、今後も小学校への働きかけが必要です。	歴史民俗資料館	B
(4) 市出身の文化人の顕彰 ・弥富市出身の文化人を中心にした調査研究及び資料収集を引き続き行います。 ・市出身文化人に関する様々な「発信」とガイドボランティア、文化協会との協働により、内外への普及を図ります。	文化人について、これまでの資料収集・調査研究の成果としてリニューアルオープン記念企画展「弥富の文化人展」を開催したほか、秋季にも文化人展を開催しました。また、文化協会の機関紙「弥富文協」に文化人についての記事を引き続き連載し、普及を図りました。ガイドボランティアによる情報発信については、コロナ禍の影響により十分な成果が得られませんでした。	歴史民俗資料館	C

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
芸術・文化活動の振興	%	14.8	↗	19.5
文化財の保存・活用	%	15.9	↗	




●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(1) 市文化協会登録部員数	人	622	614	537	497	461		630	640
(1) 市文化協会登録団体数	団体	41	39	36	35	33		43	45
(2) 伝承活動奨励補助事業の実績数	地区	45	44	6	6	13		45	45
(3) 歴史民俗資料館入館者数 (直近5年間の平均値)	人	4,579	5,901	5,646	4,811	10,713		6,000	7,000
(4) 文化人の普及に関する事業開催数 (展示会、講座、見学会等)	回	5	8	0	1	7		10	10

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	文化・芸術活動補助事業	生涯学習課	文化協会の活動内容やイベント数について見直し協議検討する必要があると考えています。	改善
(2)	無形文化財伝承活動奨励補助事業	歴史民俗資料館	令和4年度も前年度に引き続き、コロナ禍により無形文化財の保存伝承活動は困難な状況となりましたが、コロナ対策の規制緩和から、地域の活動を衰退させないためにも事業を継続する必要があります。	改善
(3-1)	歴史民俗資料館移転事業	歴史民俗資料館	令和4年4月1日のリニューアルオープン以降、市内外から多くの方が来館され、併設する図書館利用者の入館も増えております。歴史民俗資料館移転事業は完了しましたが、今後もリピーター確保のため、図書館との連携や新たなソフト事業、SNSによる情報発信を継続させていく必要があります。	終期設定
(3-2)	企画展開催事業	歴史民俗資料館	引き続き、さまざまなテーマで企画展を開催し、集客を図ります。SNSの活用により広範囲でのPRの効果を高めるとともに、企画展開催期間以外の展示室や展示ケースを活用してテーマ展示を行うなど、施設の有効利用とリピーター確保に努めます。	現状維持
(4-1)	文化人情報発信事業	歴史民俗資料館	移転後の歴史民俗資料館において、文化人の作品等に触れる機会を増やすとともに、今後も資料収集、調査研究について継続していきます。また、ホームページや広報、SNSなどについても積極的に活用していきます。	改善
(4-2)	ガイドボランティア及び文化協会協働事業	歴史民俗資料館	今後も関係団体に対し、資料調査や情報提供などの活動支援を行い、団体活動を活性化する必要があります。また、移転後の歴史民俗資料館において、企画展示室やギャラリーでの展示会開催を計画していきます。	改善
施策の今後の方針 【ACTION】		活動団体の減少が懸念される中、団体活動の支援方法が課題の一つであり、そのような中、伝統芸能や文化財の保護・保存に努め、次世代に伝承するとともに、これらの活動を通じ郷土愛の醸成に努めます。		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(1)	文化・芸術活動補助事業	生涯学習課	生涯学習グループ	令和5年7月8日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	1	文化芸術団体、指導者の育成	
	主要事業		文化・芸術活動補助事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市民主体の文化芸術活動の活性化を促進するため、団体の育成、指導者の確保を図ります。					主な協働・関連団体等	市文化協会
事業概要	生涯学習講座への講師派遣の依頼や発表機会の提供、活動費の補助など市文化協会の活動支援を促進します。						関連する個別計画・根拠法令等
事業の開始・終了	開始年度	平成18年度	終了年度	令和10年度			

■事業費(単位:千円)[DO]											
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)				
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)			
	市文化協会運営活動費補助金	1,690	市文化協会運営活動費補助金	1,800	市文化協会運営活動費補助金	1,800	市文化協会運営活動費補助金	1,800			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
	合計	1,690	合計	1,800	合計	1,800	合計	1,800			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0				
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(1) 市文化協会登録部員数			人	622	614	537	497	461		630	640
(1) 市文化協会登録団体数			団体	41	39	36	35	33		43	45
指標の分析			文化協会に登録する各部において高齢化を理由に団体数及び部員数が減少しています。さらに、部員数の減少が進み、部の存続が困難となって退会に至るケースが見受けられます。								
■事業の評価[CHECK]											
項目	評価視点					評価の結果					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 					市民主体の文化芸術活動の活性化を促進するため、継続した活動支援が必要です。					
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 					新型コロナウイルス感染症の影響により、協会事業が一部中止となったため、補助金交付要綱に則り、補助金交付額を減額し、適切にコストの削減を行いました。					
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 					市民の生活文化の向上を目的としており、市内の文化芸術活動の充実を図るには、市が実施することが妥当です。					
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 					運営活動費の補助により協会を存続することができ、市民に文化芸術活動の場を提供することは、総合計画の施策目標である「文化・芸術の振興」を実現することができ、市の文化行政の発展に寄与しています。					
■今後の進め方[ACTION]											
課長意見										方向性	
文化協会の活動内容やイベント数について見直し協議検討する必要があると考えています。										改善	

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	無形文化財伝承活動奨励補助事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和5年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	2	文化財の保存活用	
	主要事業		無形文化財伝承活動奨励補助事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市内各地域に伝わる芸能（無形文化財）の保存と伝承を推進し、地域の活動を活性化することを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	弥富市文化財保存会
事業概要	各地区で行われる伝承活動に対し、1地区5万円を上限に助成するとともに、文化財保存会との協働により伝承活動を推進します。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)[DO]										
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	無形文化財伝承活動 奨励補助金	596	無形文化財伝承活動 奨励補助金	2,250	無形文化財伝承活動 奨励補助金	2,250	無形文化財伝承活動 奨励補助金	2,250		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	文化財保存会補 助金	73	文化財保存会補 助金	700	文化財保存会補 助金	700	文化財保存会補 助金	700		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	山車等整備事業 補助金	160	山車等整備事業 補助金	700	山車等整備事業 補助金	700	山車等整備事業 補助金	700		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	829	合 計	3,650	合 計	3,650	合 計	3,650			
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0			
成果指標		単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 伝承活動奨励補助事業の実績数		地区	45	44	6	6	13		45	45
指標の分析		新型コロナウイルス感染症の第8波が、伝承活動が行われる8月に重なったことから活動を休止する地区が多くなりました。一方、令和2年度から2年間休止した地区のうち、7地区が活動を再開し、合計13地区となりました。								
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 				伝承活動を実施する地区は市内全域にあり、祭りの担い手不足という共通の課題を抱えています。伝統的な祭りの保存伝承は、市の文化振興だけでなく地域の活性化のためにも必要です。					
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 				伝承活動奨励補助事業は、補助条件の活動日数に満たない場合や祭りが中止の場合でも補助できることとし、コロナ禍により、活動が困難な状況でも柔軟に対応できるようにした結果、13地区が実施しました。					
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 				対象地区は市内のほぼ全域にわたっており、幅広く公平に補助を行うため市が実施すべき事業です。					
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 				令和4年度はコロナ禍により目標達成には及びませんでした。が、長期的な継続により地域の伝統文化の保存活用が図られ、市の文化振興と地域を活性化することができます。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
令和4年度も前年度に引き続き、コロナ禍により無形文化財の保存伝承活動は困難な状況となりましたが、コロナ対策の規制緩和から、地域の活動を衰退させないためにも事業を継続する必要があります。								改善		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3-1)	歴史民俗資料館移転事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和5年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	3	歴史民俗資料館の有効活用	
	主要事業		歴史民俗資料館移転事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	現在の歴史民俗資料館は、昭和46年建築の中央公民館の増改築施設であるため老朽化が進み、今後、修繕等の維持費に多額の予算を要することが見込まれます。また、単独館のため入館者が伸び悩んでおり、これらの課題を解決するため、図書館棟に複合化し、資料館の有効活用を図ります。					主な協働・関連団体等	弥富ふるさとガイド
							資料館を考える市民ワークショップ
							弥富市文化協会
事業概要	本庁舎完成後に、保健センターの跡地を改修し、歴史民俗資料館を移転します。					関連する個別計画・根拠法令等	公共施設再配置計画
事業の開始・終了	開始年度	令和元年度	終了年度	令和4年度			

■事業費(単位:千円)[DO]

	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
事業内訳	記念事業(特別展等)	48	記念事業(特別展等)	58				
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計	48	合計	58	合計	0	合計	0	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析

■事業の評価[CHECK]

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	<p>移転前の旧歴史民俗資料館は小規模な単独館で、駐車場が少なく、公共交通が不便であるなど、利用者にとっての課題がありました。旧施設の老朽化が進んでいるこの機会に移転したことで、利用者の利便性向上と施設の魅力化が図られました。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	<p>公共施設再配置に基づき、旧歴史民俗資料館を解体し、施設管理費として年間約300万円の経費が節減できました。</p>
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	<p>歴史民俗資料館は、本市の歴史・文化等に関する資料を将来にわたり保存するとともに、それらを正しく伝えるために必要な施設です。また、学校教育に資することからも市が行うべき事業です。</p>
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	<p>公共施設再配置計画に位置付けされた事業であり、図書館との複合化により、施設の魅力化と有効利用が図られます。また市民の利便性が高まることから利用者の大幅な増加がありました。</p>

■今後の進め方[ACTION]

課長意見	方向性
<p>令和4年4月1日のリニューアルオープン以降、市内外から多くの方が来館され、併設する図書館利用者の入館も増えております。歴史民俗資料館移転事業は完了しましたが、今後もリピーター確保のため、図書館との連携や新たなソフト事業、SNSによる情報発信を継続させていく必要があります。</p>	<p>終期設定</p>

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(3-2)	企画展開催事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和5年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】 心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	3	歴史民俗資料館の有効活用	
	主要事業		企画展開催事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	弥富市の歴史等への理解を深めるとともに市のPRを行うため、リピーター確保の観点から有効である企画展を開催します。					主な協働・ 関連団体等
事業概要	資料館活動で蓄積された資料をもとに、弥富市に関する様々なテーマで年間2回～3回の企画展を開催します。また、冬期には、小学校3年生の「昔の暮らし」の学習に資する展示を行います。					
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	

■事業費(単位:千円)[DO]									
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	消耗品費	112	消耗品費	69	消耗品費	69	消耗品費	69	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	印刷製本費	120	印刷製本費	198	印刷製本費	198	印刷製本費	198	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
			手数料	19	手数料	19	手数料	19	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
合計	232	合計	286	合計	286	合計	286		
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0		
成果指標		単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(3) 歴史民俗資料館入館者数(直近5年間の平均値)		人	4,579	5,901	5,646	4,811	10,713	6,000	7,000
指標の分析	4月1日に移転リニューアルオープンし、年3回の企画展を開催したことから、年間の入館者数が3万3千人を超え、直近5年間の平均値でも目標値を達成しました。								
■事業の評価[CHECK]									
項目	評価視点			評価の結果					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 			市民が、自分の住むまちの歴史や文化に触れる場所として必要です。常設展示では不十分な展示テーマや、学芸員による調査研究成果として企画展を開催し、市の歴史文化の普及に努める必要があります。					
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 			年3回の企画展開催のほか、企画展示室やロビーを活用したミニ展示を行い、スペースの有効利用とリピーターの確保を図りました。また、PRについてはSNSによる情報発信を行うとともにチラシ等の印刷物の配布を積極的に行いました。					
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 			歴史民俗資料館に収蔵された資料の多くは、市民からの寄贈によるものであり、それらを調査研究し、活用するため、専門知識を有した市の職員により、事業を実施していく必要があります。					
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 			弥富市に関する様々なテーマで企画展を開催することにより、歴史文化の理解を深めるとともに本市の魅力のPRにつながります。					
■今後の進め方[ACTION]									
課長意見							方向性		
引き続き、さまざまなテーマで企画展を開催し、集客を図ります。SNSの活用により広範囲でのPRの効果高めるとともに、企画展開催期間以外の展示室や展示ケースを活用してテーマ展示を行うなど、施設の有効利用とリピーター確保に努めます。							現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4-1)	文化人情報発信事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和5年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	4	市出身の文化人の顕彰	
	主要事業		文化人情報発信事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】




事業目的	市出身の文化人について、資料収集や調査研究を進めるとともに、市内外に情報発信を行うことにより、市内外の方へ弥富市の歴史や著名な文化人について理解を深めていただき、次世代へ受け継ぐことを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	弥富ふるさとガイドボランティア
							弥富市文化協会
事業概要	市民団体との協働により、資料所在情報等の調査結果を共有し、資料収集と調査研究を進めるとともに、資料館活動を通して、さまざまな情報発信の機会を活用し普及活動を行います。						関連する 個別計画・ 根拠法令等
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)[DO]										
事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	美術工芸品購入費	0	美術工芸品購入費	50	美術工芸品購入費	50	美術工芸品購入費	50		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	図書購入費	16	図書購入費	50	図書購入費	50	図書購入費	50		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合計	16	合計	100	合計	100	合計	100		
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0		
成果指標		単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(4) 文化人の普及に関する事業開催数 (展示会、講座、見学会等)		回	5	8	0	1	7		10	10
指標の分析	<p>移転後の歴史民俗資料館において、展示会を2回開催したほか、市民文化展での展示を通して普及を図りましたが、コロナ禍によりイベントが少なく、目標値には達しませんでした。</p>									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 				<p>長年、文化芸術活動を継続している文化協会などから、文化人の貴重な資源の掘り起こしと顕彰が求められています。弥富市の歴史や文化について掘り下げ、情報発信することは、心豊かで文化を育む人づくりに資するため必要です。</p>					
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 				<p>文化人に関する美術工芸品や図書資料の購入は多くありませんでしたが、所蔵者から多くの寄贈があり資料整理や調査研究に努めました。購入以外の方法で資料収集ができたことでコストの削減につながりました。</p>					
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 				<p>歴史民俗資料館では、市民から寄贈された文化人の作品を数多く所蔵しています。これらを調査研究する主な実施主体として、文化協会や擔風会などの団体がありますが、各団体単独で実施するのは困難であるため、団体の協力を得ながら市が包括的にとりまとめ、運営する必要があります。</p>					
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 				<p>本市出身の文化人について情報発信を進め、市の歴史・文化を正しく理解することは、市民の文化・芸術の振興や市の魅力化につながります。</p>					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
<p>移転後の歴史民俗資料館において、文化人の作品等に触れる機会を増やすとともに、今後も資料収集、調査研究について継続していきます。また、ホームページや広報、SNSなどについても積極的に活用していきます。</p>								改善		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(4-2)	ガイドボランティア及び文化協会協働事業	歴史民俗資料館	文化財グループ	令和5年7月13日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	3	【教育・文化・スポーツ】心豊かで文化を育む人づくりのまち	重点施策
	施策目標	4	文化・芸術の振興	
	主要施策	4	市出身の文化人の顕彰	
	主要事業		ガイドボランティア及び文化協会協働事業	
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する			
	目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する			
	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
	  			

■事業内容【PLAN】

事業目的	市出身の文化人について、資料収集や調査研究を進めるとともに、市内外に情報発信を行うガイドボランティア・文化協会の事業を支援します。					主な協働・関連団体等	弥富ふるさとガイドボランティア
							弥富市文化協会
事業概要	市民団体との協働により、資料所在情報等の調査結果を共有するとともに、市民文化展における文化人の展示コーナーの設置、ハイキング等におけるガイドの実施等、情報発信の機会を多く設け普及活動を行います。						関連する個別計画・根拠法令等
事業の開始・終了	開始年度	平成21	年度	終了年度	令和10	年度	

■事業費(単位:千円)[DO]

事業内訳	令和4年度(実績)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
				0		0		0
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	主体的な活動を継続している市民団体から市との連携を求められています。市と市民グループとの連携により事業を実施することは、団体活動の活性化につながり、市民生活をより豊かにするために必要です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	市民団体に対し、積極的な資料提供や情報提供に努めました。市民団体との協働により、大勢の人や関心のある人が集まる機会を活用して情報発信することで、コストをかけずに効果を期待することができます。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体で誰が実施するのが良いか 	市民団体による情報発信力は大きな効果が見込まれるので、市と主体的な活動を行っている各種団体が協働して実施することが必要です。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	文化人の顕彰、情報発信を通して、心豊かな人づくり、文化の薫り高いまちづくりに資することができ、本市の魅力化につながります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
今後も関係団体に対し、資料調査や情報提供などの活動支援を行い、団体活動を活性化する必要があります。また、移転後の歴史民俗資料館において、企画展示室やギャラリーでの展示会開催を計画していきます。	改善